

県民参加による 「森林環境の保全」と 「森林と共生する文化の創造」 をめざして





—— はじめに ——

私たちのふるさと愛媛は、県土の70%以上を森林が占めています。

これらの森林は、林産物の供給源であるとともに、地球温暖化を防止し、更には、清らかな水と空気を生み出すなど、かけがえのない県民共有の財産であります。

県におきましては、この森林を県民全体で守り育てていくため、平成17年度に、県民の皆様のご協力を得て森林環境税を導入し、「森をつくる」、「木をつかう」、「森とくらす」の三分野において、さまざまな施策を展開して参りました。

しかしながら、過疎化や高齢化が進行する山村地域では手入れが行き届かない森林が多く存在し、また、資源の有効活用もまだまだ進まない状況にあったため、平成22年度からは第2期目として森林環境税を継続・拡充し、山村地域の活性化や林業・木材産業の発展につながるべく、森林整備の一層の加速化と森林資源の積極的な利活用に努めているところです。

本書は、平成25年度の実績を取りまとめたものであり、ぜひ御一読いただき、森林環境税について御理解を賜りますとともに、森林の整備・保全に対する関心を更に高めていただければ幸いに存じます。

今後とも、県民参加によるえひめの^{もり}森林づくりを進めるため、これまで以上に効率的・効果的な事業実施に取り組んで参りますので、皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

平成26年7月

愛媛県知事 中村時広



(愛称) E～もりくん

「E～もりくん」は、森林環境税の普及啓発用シンボルマークです。平成20年10月に本県で開催された「第32回全国育樹祭」のシンボルマークとしても活躍いたしました。

デザイン 池田 正誓

愛称 高月 悠馬

森林環境税は えひめの森林づくりに役立っています

私たちのふるさと愛媛は、県土の7割を森林がしめる緑豊かな恵まれた環境にあります。
これらの森林は、かけがえのない県民共有の財産であり、健全な姿で次代に引き継ぐため、
森林環境税を活用し、自然との調和を図りながら「県民参加の森林づくり」を進めています。



- 【納める額】
個人 年額 700円
法人 年間 1,400円～56,000円
(資本金などに応じた額)
- 【納める人】
県内に住所がある個人
県内に事務所がある法人
- 【期 間】
平成 22 年度～平成 26 年度
森林環境税は、県民税均等割に上乗せする
方法で納めていただいています。

事業方式

指定事業

県が用途を定めて
実施するもの

公募事業

県民の皆様及び市町から
取組を公募し実施するもの



県民の
協力

県民の
参加

県民の
支援

森をつくる

- 水を育む森の創造
- 貴重な森の保全
- 環境に配慮した森の育成

森とくらす

- 県民と森との交流促進
- 森を知る県民活動の推進
- 県民がふれあう森の設置

木をつかう

- 木と子供たちのふれあい促進
- みんなが集う施設への木材利用
- くらしに活かすバイオマスの利用

県民と森との交流を
推進させるための拠点づくり

豊かな県民生活の実現

森林環境を活用した事業

① 県指定事業 … 県が用途を定めて実施するもの
〔森林環境税の目的を達成するため、県が用途を定めて実施します。〕

森をつくる

県民共有の財産である森林を、水源かん養や山地災害防止など公益的機能が発揮できるように森林の整備や保全に努めます。



間伐後の状況



作業道の整備



ボランティアによる松保全活動



林業担い手の育成

木をつかう

森林から生まれ、人にやさしく、環境保全にも貢献する木材を、より身近に利用していくことに努めます。



学校の木質化



住宅での県産材利用



木製標識等の設置



県産材の販路拡大

森とくらす

森林との出会いやふれあい等を通して、森林を愛する契機を創りだすことに努めます。



間伐体験



竹炭づくり体験



自然観察会



森林ボランティアの育成

② 公募事業 … 県民の皆様及び市町から取組みを公募し実施するもの
〔県民の皆様や市町が企画・立案して実施する活動を支援しています。〕



植樹活動



間伐体験



木工教室



森林体験・学習

平成25年度事業実績
事業総括表

◎ 基金繰入額

積立金	内容	内 訳	予算額	決算額	差引額
森林環境 保全基金 積立金	森林環境税を財源に、県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び、公益的機能を発揮できる森林の保全・整備の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	① 森林環境保全基金積立金	544,750,000円	542,111,733円	2,638,267円

◎ 歳出額

事業名	内容	内 訳	予算額	決算額	差引額		
森をつくる活動	生活に欠くことのできない森林を、水源かん養や山地災害防止、生物多様性の保全などの公益的機能の向上を図るために整備・保全するとともに、野生鳥獣による森林被害の防止対策を実施するほか、必要な技術者等の人材の育成を進める。		271,764,000円	256,407,511円	15,356,489円		
		①森林再生集団間伐促進事業 集果コストを軽減させるための集果地の区画化や作業道開設等と森林の整備	137,400,000円	129,379,069円	8,020,931円		
		②集落等山地災害危険地区整備事業 山地災害危険地区の森林を土砂災害防止機能の高い健全な森林へ誘導	46,300,000円	45,368,230円	931,770円		
		③松林保全事業 原木である松を守るための松林保全活動を支援	1,986,000円	1,880,101円	105,899円		
		④フォレストマイスター養成支援事業 森林を面的・効率的に整備する作業技術者を養成	10,842,000円	10,260,820円	581,180円		
		⑤奥地水源林保全整備事業 ダム等の奥地水源地域の放置森林を水土保全機能を回復させるために整備	42,233,000円	42,230,000円	3,000円		
		⑥ニホンジカ森林被害防止対策事業 ニホンジカによる森林被害等を軽減し、森林を保全	10,000,000円	7,535,000円	2,465,000円		
		⑦有害鳥獣総合捕獲事業(ニホンジカ緊急捕獲事業) ニホンジカによる森林被害を軽減し、森林を保全	5,855,000円	3,915,000円	1,940,000円		
		⑧優良種苗確保事業 健全な森林を造成するための優良な苗木を確保、提供	4,700,000円	4,536,000円	164,000円		
		⑨ニホンジカ個体数調整実証事業 ニホンジカによる森林被害を軽減し、森林を保全	1,600,000円	1,526,902円	73,098円		
		⑩森林吸収クレジット推進事業 森林吸収クレジットの普及啓発と販売促進	1,544,000円	1,395,082円	148,918円		
		⑪林業躍進プロジェクト推進事業 林業を地域の成長産業へ育成するプロジェクトの推進	9,304,000円	8,381,307円	922,693円		
		県指定事業 木をつかう活動	持続的に森林整備を進めるために不可欠な森林資源の活用を促進するため、公共施設や民間住宅における木造化・木質化、県産材の需要拡大を推進するとともに、林内に放置されている未利用材の有効活用を図り、再生可能なエコ・マテリアル(環境素材)である木材を暮らしの中に取り入れ、人にやさしい生活環境を創造する。		205,605,000円	183,420,834円	22,184,166円
				①木質バイオマス利用促進事業 未利用材を木質バイオマスとして有効利用	30,318,000円	29,728,011円	589,989円
				②公共施設木材利用推進事業 地域のシンボルとなる公共施設の木造化	36,587,000円	28,028,552円	8,558,448円
③県立学校校舎等整備事業 県立学校校舎の内装の木質化	8,000,000円			8,000,000円	0円		
④自然公園木製施設整備事業 自然公園内に県産木材を使った橋樑、橋、階段などを整備	4,600,000円			4,498,971円	101,029円		
⑤木の香る公園施設整備 都市公園に県産木材を使った休憩所やベンチなどを整備	2,700,000円			2,700,000円	0円		
⑥えひめ材住宅普及啓発事業 民間住宅に良質な柱材を無償提供する等、木造住宅の建設を促進	49,090,000円			48,971,662円	118,338円		
⑦原木しいたけ等生産促進事業 クヌギ等の広葉樹をしいたけ等の原木として利用することを促進	24,150,000円			16,035,447円	8,114,553円		
⑧愛媛県産材製品市場開拓促進事業 県産材の販路拡大や大消費地での市場開拓等を支援	28,000,000円			27,390,391円	609,609円		
⑨新繊維産業技術センター整備事業 来場者の目に触れやすい場所の木質化	8,000,000円			8,000,000円	0円		
⑩原木乾しいたけ緊急対策事業 乾しいたけの生産振興による山村の活性化	14,160,000円	10,067,800円	4,092,200円				
森こぐらす活動	県民参加による森づくりを推進するため、森づくりを行う市民グループや団体間の交流や情報の提供、森づくりの場(フィールド)の提供を行なうとともに、次代を担う青少年を対象とした森林体験や森林環境学習等を行い、暮らしの中で森林との共生を推進する。		41,173,000円	34,933,999円	6,239,001円		
		①県民と森との交流促進事業 県民と森との交流促進	14,385,000円	11,413,728円	2,971,272円		
		②自然観察会開催事業 自然保護体験活動、野外教育等を行う自然観察会の開催	1,700,000円	1,605,700円	94,300円		
		③森とのふれあい活動促進事業 森づくりを行う青少年や県民の活動を支援	14,188,000円	11,454,545円	2,733,455円		
		④林業普及指導事業 森林再生プロジェクトの成果を県下に普及させるための体験と広報誌の発行	3,600,000円	3,316,169円	283,831円		
		⑤「森林わくわく体験」推進事業 幼稚園や小中学校に対する森林環境教育の推進	4,700,000円	4,700,000円	0円		
		⑥都市近郊林保全事業 緑に親しむ空間を提供するため、都市近郊林を整備	400,000円	399,000円	1,000円		
		⑦巡回展「森の博物館」開催事業 自然や森林に関する巡回展や森林観察会等の開催	2,200,000円	2,044,857円	155,143円		
公募事業 づくり公募事業	森林環境税の目的「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県民の豊かな発想を施策に反映するとともに、自発的な活動を支援し、森林に対する県民参加活動を発展させる。		30,000,000円	26,987,000円	3,013,000円		
		①県民参加の森づくり公募事業費	30,000,000円	26,987,000円	3,013,000円		
○計			548,542,000円	501,749,344円	46,792,656円		